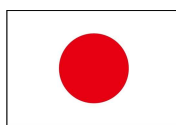





2022



第19回 ノルウェー・フレンドシップ・ヨットレース ディンギー部門 オプティミスト級クラス

帆走指示書



- 期日** 2022年4月23日（土）～4月24日（日）
- 主催** 一般社団法人 江の島ヨットクラブ
- 場所** 神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー沖
- 略語**
- [DP]** その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができることを意味する。
- [NP]** 艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。
- 1.規則**
- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則 2021-2024』に定義された規則が適用される。
- 1.2 規則 61.1『被抗議者に伝えること』を次のとおり変更する。
- 1.2.1 規則 61.1(a)に「レース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関わる抗議をする艇は、その艇がレース中でなくなったあとの最初の適切な機会に、フィニッシュラインに位置するレース委員会艇に、口頭で被抗議艇を伝えなければならない。但しこれを行えない合理的な理由がある場合は、この限りではない。」を追加する。
- 1.3 規則40.1を適用する。
- 2.帆走指示書の変更**
- 2.1 帆走指示書(以下「SI」という)の変更は、それが発効する当日の9:00までに公式掲示板に掲示される。
- 2.2 ただし、レース日程の変更については、発効する前日の19時までに掲示される。
- 3.選手とのコミュニケーション**
- 3.1 競技者への通告は、公式掲示板（江の島ヨットハーバーヨットハウスA1会議室）に掲示される。
- 3.2 掲示板への密を避けるために、大会LINEオープンチャットにも参考情報として同内容を掲示する。
オープンチャット「2022ノルウェーフレンドシップヨットレースOP部門」
https://line.me/ti/g2/ubGoOnx6Ln9Z3zicO5ovfecJrOtAOhrZwPndBw?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default
- 
- 3.3 公式掲示板と大会オープンチャットの掲示時刻に相違が生じた場合においては、公式掲示板の掲示時刻をもって通告が行われたものとする。このことはRRS62.1(a)による救済の根拠とならない。
- 3.4 緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつすべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。[DP]
- 3.5 艇は、レース中は一切操作を行わず、ハーバーに到着するまでの間はGPSから一切の情報を取得せず、かつ帆走コースの記録だけを行う目的に使用する場合に限り、予めレース委員会に書面で申請することにより、GPSを搭載することができる。これはRRS41を変更している。[DP]

4.行動規範

4.1 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。[DP]

5.陸上および海上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は江の島ヨットハーバーヨットハウスのフラッグポール（以下「フラッグポール」という）に掲揚される。
- 5.2 陸上にて、音響信号1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後30分以降に発せられる」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、指定されたバースを離れてはならない。[DP]
- 5.3 予定されている予告信号の30分前までにD旗が掲揚されない場合は、予定無く延期されていることを意味する。
- 5.4 海上にて、運営船にN/H旗、N/A旗、AP/H旗またはAP/A旗が掲揚されたときには、RRSレース信号に定められたそれぞれの意味に加え、「速やかにハーバーに帰り帰着申告をしなければならない」を意味する。
- 5.5 B旗が音響1声と共に掲揚された場合、SI19.4の適用を意味する。

6.レースの日程

4月23日（土）	7:00~8:30	艇の搬入（中央ゲート）
	8:00~8:30	受付登録（大会本部）
	8:30~	ハーバー使用料支払い（湘南なぎさパーク）
	8:45~9:00	開会式・スキッパーズミーティング・コーチミーティング（大会本部前）
	9:55	OP級Aクラス第1レース予告信号
4月24日（日）	10:00	OP級Bクラス第1レース予告信号 以降のレースは順次行う。
	9:25	OP級Aクラス2日目の最初のレース予告信号
	9:30	OP級Bクラス2日目の最初のレース予告信号 以降のレースは順次行うが、13:00より後には予告信号を発しない。
	15:00	表彰式

- 6.1 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 6.2 大会最終日は13:00を過ぎて予告信号を発しない。
- 6.3 海上で昼食をとることがある。

7.レースの成立

- 7.1 各クラスのレース数は全6レースとする。
- 7.2 1レースも実施できない場合の順延は行わない。

8.クラス旗およびクラスの識別

- 8.1 クラス旗は以下のとおりとする。
OP級Aクラス OP旗(白地に黒文字)
OP級Bクラス OP旗(赤地に黒文字)
- 8.2 OP級Bクラスは識別のためにセールトップに識別リボンを取り付ける。識別リボンは受付時に配布する。

9.レース・エリア

- 9.1 レース・エリアはNoRに基づき、江の島沖B1海面（七里が浜沖）とする。
- 9.2 ただし、レース・エリアは、風向や波高その他の理由により、レース委員会の裁量で変更できるものとする。
- 9.2.1 D旗掲揚前に変更する場合には、フラッグポールにL旗を掲揚し公式掲示板に掲示する。
- 9.2.2 D旗掲揚後に変更する場合には、レース委員会船にL旗を掲揚し、変更したレース海面に先導する。

10.コース

- 10.1 SI添付図の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2 予告信号以前に、信号船のスターンに最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 10.3 各クラスのコースは予告信号と共に掲揚される数字旗で指示する。
 - 10.3.1 OP級Aクラス
数字旗無し:スタート→①→②→③→フィニッシュ
数字旗1:スタート→①→③→フィニッシュ
 - 10.3.2 OP級Bクラス
数字旗無し:スタート→①→フィニッシュ
数字旗1:スタート→①→③→フィニッシュ
数字旗2:スタート→①→②→③→フィニッシュ

11.マーク

- 11.1 マーク①、②、③はピンク色の円錐台型ブイ、マーク④はオレンジ色の三角錐ブイとする。
- 11.2 スタート・マークは、スターボードの端に位置する信号船とポートの端に位置するオレンジ色旗を揚げたブイとする。また、信号船のラダーおよび運営船の船外機を保護するために、そのスターンの直近に浮かべたオレンジ色のブイがある場合は、それもマークの一部である。
- 11.3 フィニッシュ・マークは、以下のとおりとする。
 - 11.3.1 OP級Aクラス
スターボードの端に位置する青色旗を掲揚する運営船(以下「フィニッシュ・ポート」という)とポートの端に位置するオレンジ色旗を揚げたブイとする。
 - 11.3.2 OP級Bクラスで予告信号とともに掲揚される数字旗が無かった場合
スターボードの端に位置する信号船とポートの端に位置する黄色シリンダー型ブイとする。
 - 11.3.3 OP級Bクラスで予告信号とともに数字旗1または数字旗2が掲揚された場合
スターボードの端に位置するフィニッシュ・ポートとポートの端に位置するオレンジ色旗を揚げたブイとする。

12.スタート

- 12.1 レースは、RRS26を用いて、OP級Aクラス、OP級Bクラスの順で予告信号をスタート信号の5分前としてスタートさせる。ただし、レース委員会は、スタート順序を、予告信号で掲揚するクラス旗の種類により変更することができる。
- 12.2 後続のクラスは、5分間隔でスタートする。後続のクラスの予告信号は通常、先にスタートするクラスのスタート信号と同時に発せられる。この間隔はレース委員会の裁量により変更することができる。
- 12.3 スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているボールの間とする。
- 12.4 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、SI添付図に規定するスタート・エリアを回避しなければならない。[DP] [NP]
- 12.5 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これはRRS A5を変更している。
- 12.6 OP級Bクラスのスタートには、RRS30は適用しない。
- 12.7 RRS30.3および30.4に違反した艇のセール番号は、そのスタート信号の4分以降に信号船に表示する。この掲示に関しては RRS62.1(a)による救済の根拠とはならない。[NP]
- 12.8 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、信号船以外の運営船にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、信号船以外の当該運営船が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および規則29.2を変更している。[NP]

13.コースの次のレグの変更

- 13.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、元のマークまたはフィニッシュ・ラインを新しい位置に移動する。
- 13.2 レース委員会がRRS33に基づきマークまたはフィニッシュ・ラインを移動した場合、元のコースの形が崩れたことを理由に救済の要求はできない。この項は、RRS62.1(a)を変更している。[NP]

- 14.フィニッシュ**
- 14.1 OP 級Aクラスのフィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・ボート上の青色旗を掲揚しているポールとボートの端に位置するオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 14.2 OP級Bクラスのフィニッシュ・ラインは以下のとおりとする。
- 14.2.1 予告信号とともに掲揚された数字旗が無かった場合
信号船上の青色旗を掲揚しているポールとボートの端に位置する黄色シリンダー型パイの間とする。
- 14.2.2 予告信号とともに数字旗1または数字旗2が掲揚された場合
フィニッシュ・ボート上の青色旗を掲揚しているポールとボートの端に位置するオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする
- 15.ペナルティー方式**
- 15.1 RRS T1に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは RRS A10を変更している。
- 15.2 RRS44.1に基づきペナルティーを履行またはリタイアした艇は、抗議締め切り時間までに大会本部にある、回転報告書、リタイア報告書に記入しなければならない。[NP][DP]
- 16.タイムリミット**
- 16.1 マーク①および②のタイムリミットは30分とし、タイムリミット内に1艇もマークを通過しなかった場合はレースを中止することができる。
- 16.2 各クラスでRRS30に違反およびSI12.5に該当していない最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。これは RRS35およびA4、A5を変更している。
- 17.審問要求**
- 17.1 抗議しようとする艇は、最初の適当な機会に「プロテスト」と相手に声をかけ意思を伝えるとともに、フィニッシュ後速やかにフィニッシュ・ボートのスターボード側からフィニッシュ・ボートに乗船するレース委員会に対して、抗議の意思と対象艇のセール番号を口頭で伝えなければならない。なお、フィニッシュ後レース委員会に対してその意思を伝えるまでの間に、支援艇の乗員とはいかなる接触もしてはならない。これはRRS61.1(a)を変更している。
- 17.2 審問要求書は、陸上本部で入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、抗議締め切り時間内に、陸上本部に提出されなければならない。
- 17.3 全てのクラスに対して、抗議・救済要求の締め切り時間はその日の最終終了クラスの最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とし、その時刻を公式掲示板に掲示する。
- 17.4 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締め切り時間後15分以内に通告が掲示される。審問はプロテスト・ルーム（江の島ヨットハーバーヨットハウスA2会議室）にて始められる。
- 17.5 付則Pに基づきRRS42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは公式掲示板に掲示される。
- 18.得点**
- 18.1 大会の成立には、1レースを完了することが必要である。
- 18.2 成立したレースが4レース以上の場合、その艇の得点は、最も悪い得点を除外した得点合計とする。
- 18.3 成立したレースが3レース以下の場合、その艇の得点は、除外なしの得点合計とする。

- 19.安全規定**
- 19.1 レースに参加する艇は出艇までに大会本部に用意された「出艇・帰着申告書」に選手自身がサインをすることで出艇申告を行わなければならない。帰着後は、抗議締め切り時間までに、同様に選手自身、または各クラブ代表者が帰着申告を行わなければならない。
- 19.2 レースに参加しない艇、出艇しない艇は、大会本部に用意された「リタイア報告書」を記入することで申告をしなければならない。本申告は代理で行ってもよい。
- 19.3 海上でリタイアする艇は、可能であればコース・エリアを離れる前に運営艇にその旨を伝えること。またリタイアした艇の選手は帰着後できるだけ早く大会本部にある「リタイア報告書」に記入し、大会本部に申告しなければならない。[DP][NP]
- 19.4 選手の帰着を早急に確認するため、B旗がフラッグポールに掲揚された場合、各選手はB旗掲揚後45分以内に19.1により帰着申告を行わなければならない。
- 19.5 救助を求める選手は、笛を吹くか、パドルもしくは腕を大きく振ること。なお、レース委員会は、選手の意向に関わらず救助する権限を持つ。このことはRRS62.1(a)による救済の根拠とはならない [NP]
- 20.装備と計測のチェック**
- 20.1 OP 級Aクラスは、レース委員会またはテクニカル委員会により、艇または装備がクラス規則、NoRおよびSIに従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。
- 21.運営艇**
- 21.1 レース委員会運営船の標識は、「黄色旗」とする。ただし信号船の標識は、江の島ヨットクラブジュニア旗(帆走指示書1ページ目上部参照)とする。
- 21.2 プロテスト委員会の乗船する船の標識は、「白地に黒文字で『PROTEST』と記された旗」とする。
- 21.3 レース委員会に指定された支援艇がレスキュー・ポートとして行動する時の標識は、「ピンク色旗」+「黄色旗」とする。
- 22.支援艇**
- 22.1 支援艇は、レース委員会が用意する「ピンク色旗」標識を付けなければならない。[NP][DP]
- 22.2 チームリーダー、コーチその他の支援者は、次の指示に従うものとする。
- 22.2.1 運営船に「緑色旗」が掲げられた場合、支援艇はコース内に入り、救助活動をしなければならない。これはRRS37を変更している。[DP]
- 22.2.2 運営船に「緑色旗」が掲げられていない場合、支援艇は最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から、すべての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの100m以上外側にいなければならない。[NP][DP]
- 22.3 支援艇の艇長は出艇前に大会本部から支援艇無線機の貸与を受け、海上では常時無線線を傍受していなければならない。また帰着後は速やかに大会本部へ返却しなければならない。ただしクラブで複数の支援艇を使用する場合であって、クラブの支援艇間での通信手段が確保されている場合は、クラブの代表支援艇のみが貸与を受けることも可とする。[NP][DP]
- 22.4 支援艇無線の受け渡し大会本部にて行う。
- 23.ごみの処分**
- 23.1 ごみは、支援艇または運営艇に渡してもよい。
- 24.無線通信**
- 24.1 緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつすべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。
- 24.2 ただし、艇は、レース中は一切操作を行わず、ハーバーに帰着するまでの間はGPSから一切の情報を取得せず、かつ帆走コースの記録だけを行う目的に使用する場合に限り、予めレース委員会に書面で申請することにより、GPSを搭載することができる。これはRRS41を変更している。

- 25.リスクステートメント（責任の否認）** 25.1 RRS3には「レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。」とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。よって主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害（傷害）もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。また、万一新型コロナウイルスに感染された場合も主催団体は責任を負わない。
- 26.保険** 26.1 各選手は、レース当日に有効な財団法人スポーツ安全協会のスポーツ安全保険または同等の第三者賠償責任保険に加入していなければならない。
- 27.規則違反によって生じた損害の補償** 27.1 主催団体は、規則等に違反した艇の乗員に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、主催団体の裁定に従うものとする。

帆走指示書に含まれないその他の情報

1：表彰式会場への入場人数制限

本ヨットレースは、令和4年3月22日付神奈川県より公開された「催物の開催に係る感染防止安全計画策定について」の指針に準拠いたします。本ガイドラインに沿って、表彰式は入場人数制限を実施することとし、クルーザー部門、ディンギー部門は表彰式の参加人数上限を各参加艇2名といたします。O P 部門の表彰式への入場人数制限は行いません。

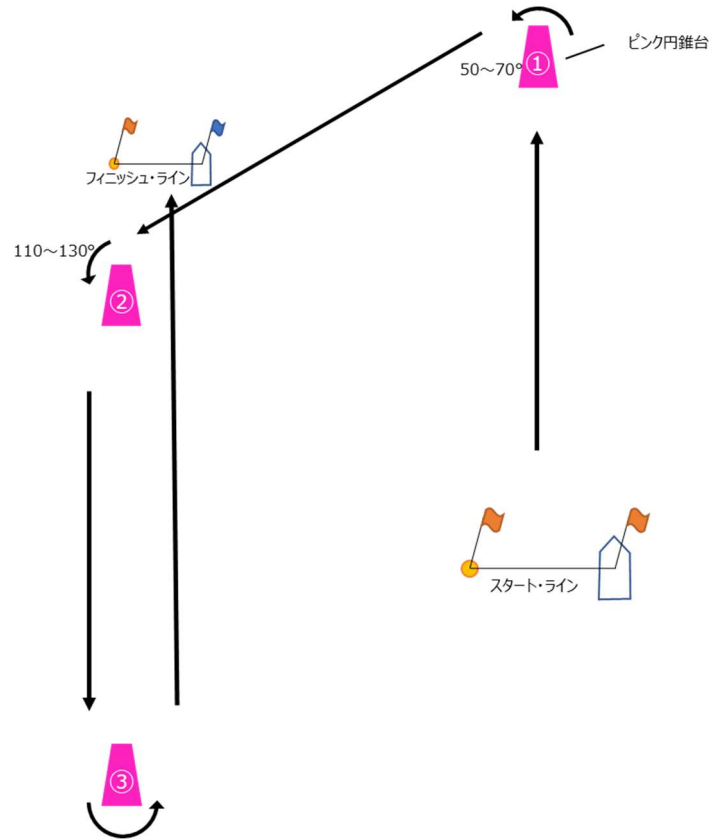
2：参加賞の授受方法

新型コロナウイルスの感染拡大傾向が沈静化するかどうか不透明であったことから、飲食を伴うパーティー等の開催は見送りいたしました。一方、後援、協賛各団体様より多大なるご支援を賜りましたので、参加賞としてクルーザー部門、ディンギー部門の参加艇の皆様へ、アルコール飲料、ノルウェー水産物等、ならびに本大会オリジナルTシャツ等をご用意し4月24日15時よりクラブルーム前にて配布いたします。またO P 部門参加艇には、本大会オリジナルTシャツ等と菓子類をエントリー受付時に配付いたします。

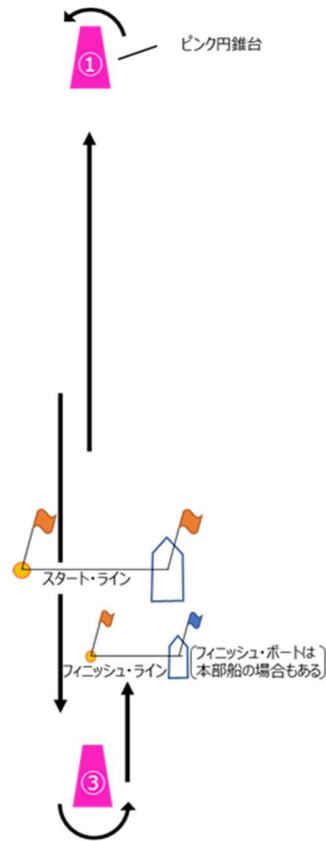
以上

添付図(OP級Aクラスのコース)

<予告信号とともに数字旗が掲揚されない場合>

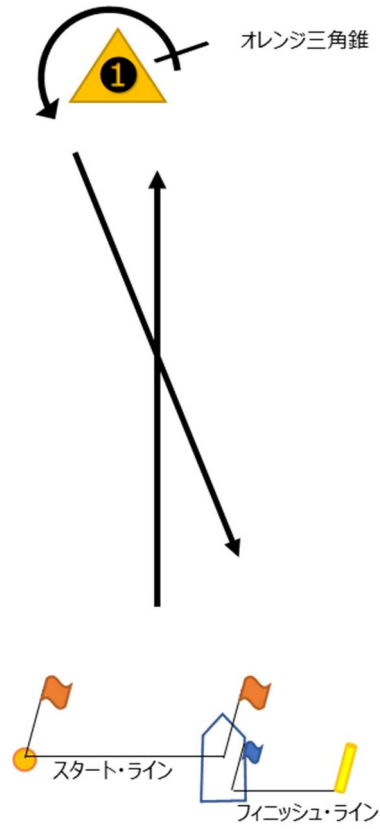


<予告信号とともに数字旗1が掲揚された場合>

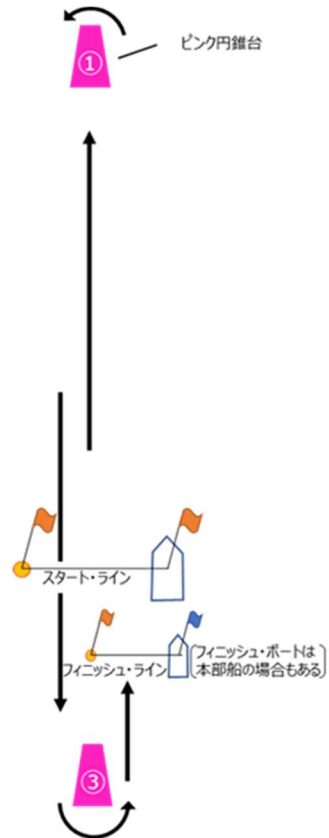


添付図(OP級Bクラスのコース)

<予告信号とともに数字旗が掲揚されない場合>

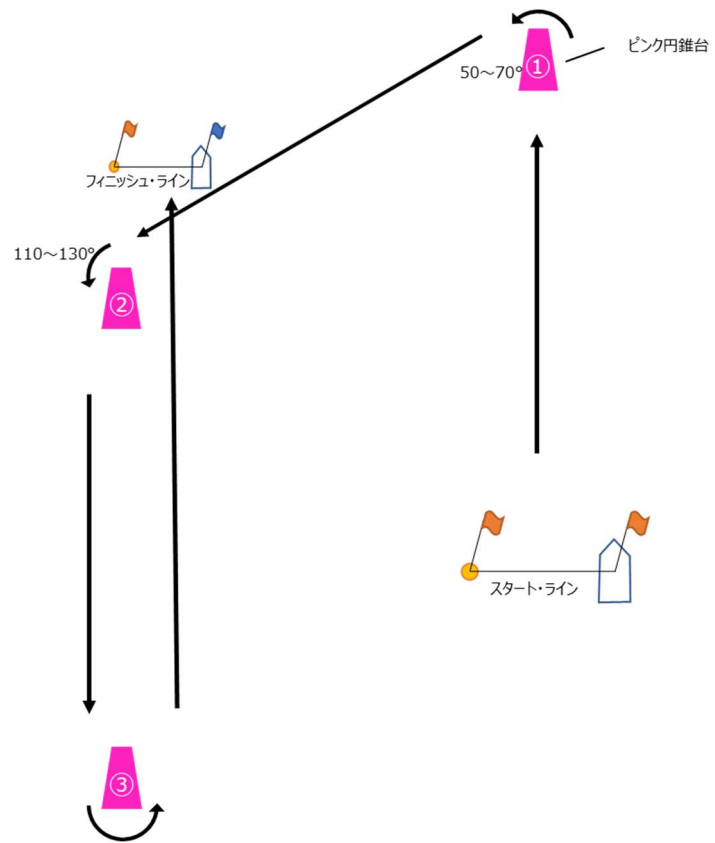


<予告信号とともに数字旗1が掲揚された場合>

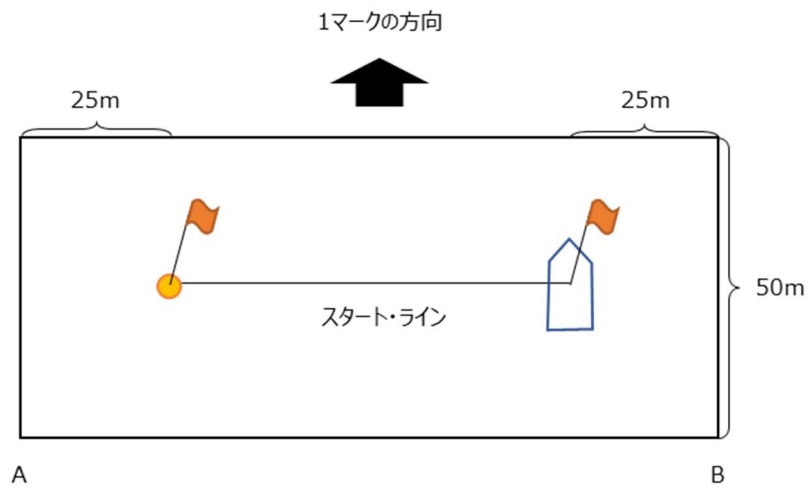


添付図(OP級Bクラスのコース)

<予告信号とともに数字旗2が掲揚された場合>



添付図(スタート・エリア)



スタート・エリア

SI12.4のスタート・エリアは上記四角で囲われた部分、すなわち「スタート・ラインの風上・風下および両エンドから25m離れた長方形の内側部分」とする。

レース委員会は、Aの位置またはAとB両位置に黄色シリンダー型ブイ配置することがある。